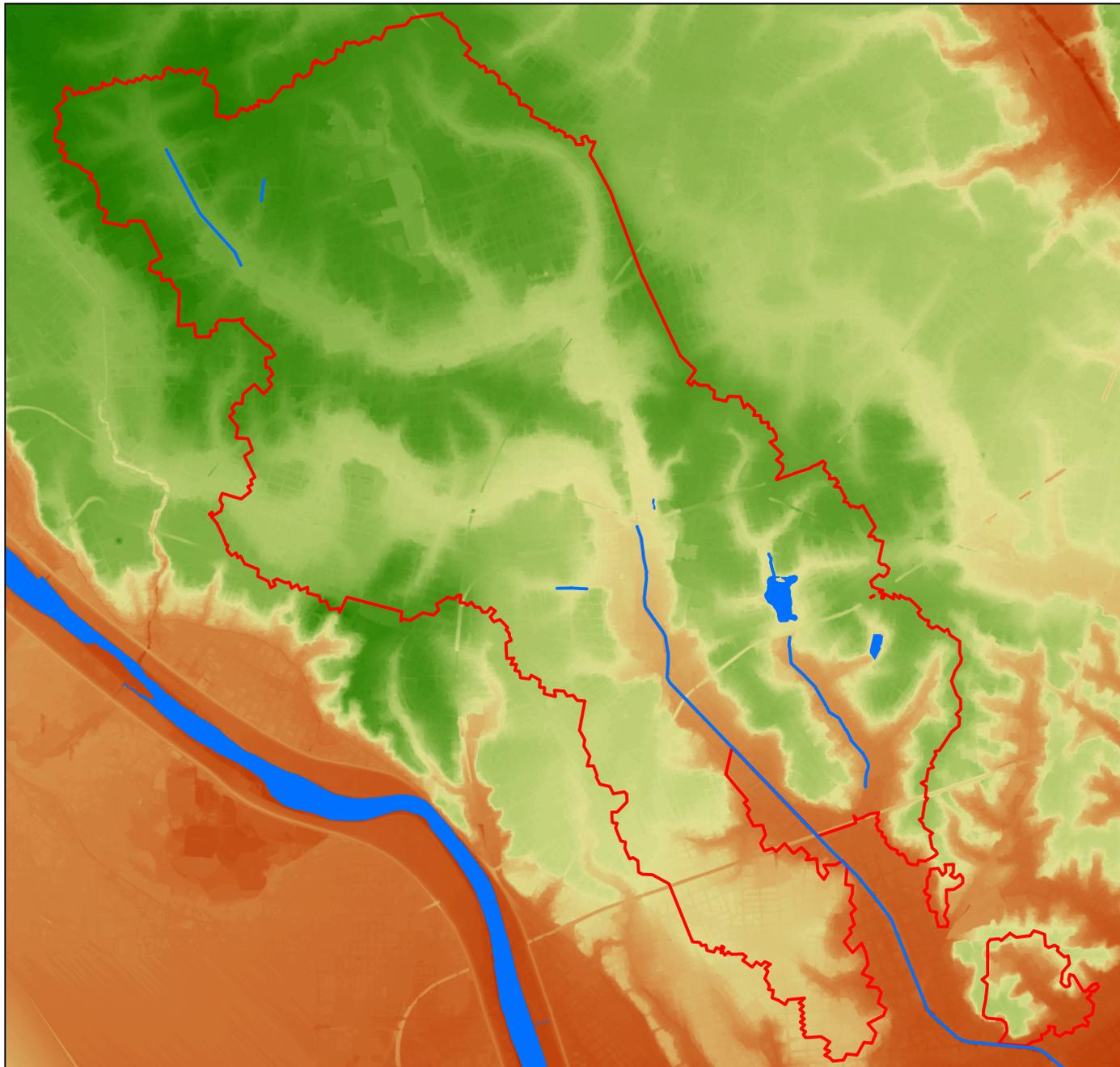


呑川の流域



図について

環境カルテでは呑川の流域を、呑川へ豪雨時に越流する下水道の集水域と定義する。つまり降った雨が呑川に流れ込む領域である。

呑川は東工大脇の工大橋を出発し蒲田を通り、海老取川までの14.4kmを流れる。そのうち、蒲田をはじめとする平野部に降る雨は森ヶ崎水再生センターに直接、全量送られるため、呑川には流れ込まない。

従って、ここでは直接排水地区を除いた、純粋な呑川の集水域として流域を定義した。

データソース

東京都下水道台帳 (2008)
東京都広域下水道幹線図 (2008)

凡例

- 水域
- 対象集水域

標高値

